

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		教職員互助会助成				所管	教育委員会 庶務課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 年度		
		[小 柱]					[終了予定] - 年度		
		[施 策]							
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	台東区教職員互助会補助金交付要綱					
	事業対象	教職員互助会							
	事業目的	台東区教職員互助会が行う福利厚生事業等に対して補助金を交付することにより、福利厚生事業及び教職員互助の充実を図る。							
	事業内容	台東区教職員互助会の福利厚生事業に対して補助金を交付する。 【補助対象事業】 会員に対する福利厚生事業のうち、文化事業及び体育事業							
委託の有無	なし	委託内容							
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	体育事業の開催回数	(回)	4	4	4	4		
		文化事業の開催回数	(回)	4	5	4	4		
	成果指標	事業の開催回数	(回)	8	9	8	8		
	決算額	(単位：千円)			577	597	357		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト（人件費など）			360	333	472		
		物にかかるコスト（物件費・維持補修費）			0	0	0		
		その他のコスト（扶助費・補助費など）			577	597	357		
		総経費			937	930	829		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額（使用料・手数料・負担金など）			0	0	0		
その他特定財源（国や都の支出金・財産収入など）			0	0	0				
一般財源（区負担額）			937	930	829				
前年度から改善した事項	より効率的かつ事業目的にあった補助金の有効活用が図られた。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	会員の心身のリフレッシュと元気回復を促し、会員の健康増進を図るために必要な事業である。						
	効率性	3	会員同士がスポーツ等を通じて親睦を図ることにより、職場の雰囲気良くなり、協力し合うことで、何事も短時間で処理する環境づくりにつながっている。						
	手段の適切性	3	補助割合については、区職員互助会への補助割合が引き下げられたことに伴い、教職員互助会に対する補助割合も同様に引き下げた。						
	目的達成度	4	計画していた事業を開催することができており、目的は達成できている。						
[評価の理由]（区民生活への影響を十分考慮すること）					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
公務員の福利厚生事業は全国的に縮小傾向にあり、区職員互助会に対する補助割合を引き下げたことに伴い、教職員互助会に対する補助割合も同様に引き下げを行った。今後も、補助条件等については必要に応じて適宜見直しを行い、適正な事業執行に努めていく。						維持			